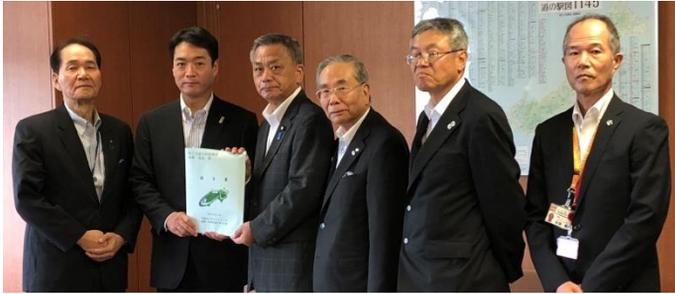


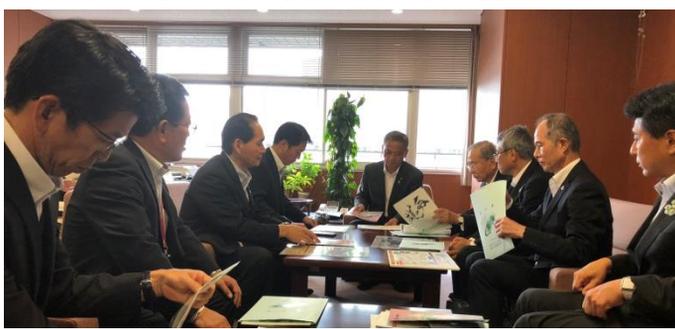
平成30年度 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会 政策提言

平成30年8月6日に「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」（発起人代表：尾崎正直高知県知事）が国土交通省の高橋克法大臣政務官と池田豊人道路局長に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消や暫定二車線区間の四車線化に加え、高知自動車道「新宮～大豊」間の早期復旧などについて提言を行いました。

◆高橋克法大臣政務官への提言



▲左から 浜田香川県知事、尾崎高知県知事、高橋大臣政務官、千葉四国経済連合会会長、海野徳島県副知事、加藤愛媛県道路都市局長



▲未事業化区間を抱える三浦海陽町長、清水愛南町長、横山安芸市長、中平宿毛市長、松延東洋町長、上村北川村長が同席

高橋克法大臣政務官

- ・四国8の字ネットワークの整備は全国の中で見ても、最重要課題と認識している。
- ・事業化されている箇所は、予算をしっかりと確保し、開通見通しを公表していきたい。
- ・計画段階評価中の箇所は、次の段階へ進むよう取り組んで行く。

- 尾崎高知県知事
 - ・災害時には「命の道」となる四国8の字ネットワークのミッシングリンクの早期整備が必要。
 - ・本県の大動脈である高知自動車道の円滑で安定的な人流・物流を確保するため、早期の全面復旧をお願いする。
- 千葉四国経済連合会会長
 - ・四国地方の経済の活性化や地域の防災力を高めるため、四国8の字ネットワークの早期のミッシングリンク解消をお願いする。
- 浜田香川県知事
 - ・4車線化事業区間においては、企業が進出し、製造品出荷額が1.5倍に伸び、経済活性化の効果が出てきている地域がある。観光・産業・安全安心のためにも、4車線化を進めていただきたい。
- 海野徳島県副知事
 - ・徳島県南部では、20m級の大津波が襲来し、海岸線を走る国道の寸断が想定されており、円滑な復旧活動等を行うため、四国8の字ネットワークの早期整備が必要。
- 加藤愛媛県道路都市局長
 - ・今回の豪雨災害では、国道やJRが寸断したなか、高速道路が救助・物資輸送において効果を発揮した。
 - ・リダンダンシーを確保するため、ミッシングリンクの早期解消が必要。

◆池田豊人道路局長への提言



海野徳島県副知事

- ・徳島県南部では、20m級の大津波が襲来し、海岸線を走る国道の寸断が想定されており、円滑な復旧活動等を行うため、四国8の字ネットワークの早期整備が必要。

加藤愛媛県道路都市局長

- ・甚大な被害が想定される南海トラフ地震へ備え、また、地域住民の安全・安心な暮らしを確保するため、未事業化区間の計画段階評価の早期完了及び早期事業化をお願いする。

池田豊人道路局長

- ・四国8の字ネットワークを1日も早く繋げられるよう取り組んでいく。

- 尾崎高知県知事
 - ・四国8の字ネットワークの延伸により、消費圏域が拡大するなど、地域産業の活性化に直結するため、延伸をお願いする。
- 千葉四国経済連合会会長
 - ・四国の素晴らしい景観を「四国八十八景」として選定し、PRし始めたところであり、地域への誘客を図るため、ミッシングリンクの解消をお願いする。
- 浜田香川県知事
 - ・高速道路を利用して四国を周遊できるようになれば、さらなる誘客が期待できるため、四国8の字ネットワークの整備推進をお願いする。

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会

(発起人：徳島県・愛媛県・香川県・高知県・四国経済連合会)

